

# あゆみ学園だより

2023年7月号  
福岡市社会福祉事業団  
福岡市立あゆみ学園

5月末の早い梅雨入りでしたが、明けるのは例年並みの予想だそうです。1か月半続く梅雨、つい鬱陶しく感じてしまいましたが、隣の小学校にある梅の木にはたくさんの実が生り、いい香りを漂わせていました。大雨は困りますが、梅雨ならではの草花や食物、風情を楽しみたいです。

さて、先月は年中・年長児の保護者を対象に、就学についての学習会や学校見学等を行いました。見学では、実際の活動風景に我が子の姿を想像し、就学先の参考にされた方が多かったようです。今月は「先輩保護者の話」を予定しており、2名の講師を迎え経験談をうかがいます。就学後の生活全般の様子を知り、お子さんとご家族にとってのより良い選択につながることを願っています。

少し先ですが、来月は「あゆみ学園生活支援セミナー」を開催します。保育園や幼稚園、学校、放課後等ディサービスの肢体不自由児療育に携わる方を対象としています。講座の内容は医療・姿勢と遊び、食べることへの支援です。園内やご家庭だけでなく、子どもたちが過ごす生活場面での理解や支援につなげていきたいと思えます。

副園長 松元美智子

## ☆★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 行事予定 ☆★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

3	月	学習会「福祉制度」(きりん・ぞう)	14	金	センタープール(きりん・ぞう)
4	火	グループ懇談(うさぎ①)	18	火	グループ懇談(ぱんだ・きりん)
5	水	グループ懇談(うさぎ②)	19	水	避難訓練
6	木	学習会「食事」(ひよこ) 保育交流事業(ひよこ・うさぎ)	20	木	園長懇談(ひよこ)
7	金	センタープール(きりん・ぞう)	21	金	保護者会 グループ懇談(ぞう・りす)
10	月	先輩保護者の話(ぱんだ・きりん・ぞう) 保育交流事業(ぱんだ・きりん・ぞう)	24	月	園長懇談(きりん)
11	火	センタープール(ぱんだ)	25	火	園長懇談(うさぎ①)
12	水	先輩保護者の話(りす)	26	水	園長懇談(うさぎ②)
13	木	グループ懇談(ひよこ)	28	金	園長懇談(ぱんだ)

## 新型コロナウイルス感染症の感染症法5類への移行後の動き

新型コロナは、第8波の鎮静後の5月8日から2類⇒5類に移行しました。社会生活では行動制限が大幅に緩和され、マスク着用も自主性にまかされています。一方国は、医療医機関、高齢者施設、児童発達支援センター等では、新型コロナが重症化しやすい方たちへの感染を予防するために、より慎重な対応を求めています。あゆみ学園でも、5類移行後の園運営について通知をさせていただきました。

5類移行後、宴会や旅行者の増加に伴い新型コロナも徐々に増加中ですが、小児ではその他の感染症も増えています。具体的にはインフルエンザ、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ(夏風邪の一種)などが同時併行的に流行しています。これらの感染症は飛沫感染する病気で、マスクや手洗いなどを徹底し密を避ける行動パターンをとっていた3年間は発生が少なかった半面、今はこれらの感染症に罹っていない子どもが大勢いるとも言えます。

新型コロナは5類に移行しましたがウイルスの感染力が変わった訳ではありません。福岡市民の約4割は未感染のようですので、小・中流行が第10波として来る可能性はありますのでご注意ください。園運営も流行に応じて変更していく可能性があります。6月末までは市の要請により職員は定期的抗原検査を継続します。なお、新型コロナワクチンは秋に追加接種が推奨されるようですが、小児は初回接種率が低いままです。ワクチンに含まれる成分量を見ると、12歳以上は成人量、5歳~11歳はその1/3、6カ月~4歳は1/10ですので、幼児の発熱率は低いようです。

宮崎千明(小児科医)

